

組合まつりで見せるプロの技 広告看板の張り替え作業

山梨県広告美術業協同組合(篠原元理事長)は、3月22日にアイメッセ山梨で開催した「2015中小企業組合まつり」において、(公社)やまなし観光推進機構、山梨県冷凍空調設備事業協のイベントと連携して「春便りフォトブース」と題した出展を行った。



武田菱丸と記念撮影

この出展は、山梨県の魅力をより多くの方々に知ってもらい地元への興味関心を高めてもらうための観光PRイベントとして、3つの異なっ

た富士山の風景をバックに写真を撮れる背景パネルを設置し、10時30分と2時の2回にパネルの背景の張り替え作業の実演も行い、広告美術業界のプロの技術を来場者等に間近で見てもらった。作業は縦3.6メートル、横2.4メートルのパネルを3分割したシール状のシートをずれないように貼り合わせ、瞬く間に背景パネルが変わっていった。

「普段見ることのできないプロの技を間近で見ることができておもしろかった。」と来場者の注目を浴び、他の出展者や来賓等からも高い評価を得た。

組合の事業担当者は、「日頃行っている看板やディスプレイは飾られて価値を発揮するもの。その作成作業は舞台裏と同じため、実際の作業を見せるということに少し抵抗もあったが、張り替え作業を行っているという点に興味を持って見てくれるお客さんが



背景の張り替え作業

予想以上に多かった。また、組合まつりだからこそ実現できた他団体との連携により、同業者だけではできなかった交流や販を創出することができ、予想以上の相乗効果が生まれた。次回の組合まつりでは、更に業界のことを知ってもらい、来場者が体験できる企画や他の業界と連携して楽しんでもらえるような企画を考えていきたい。」と語った。